

1 地区の概況

- ・ 瀬谷区の南西部に位置し、境川をはさんで大和市と隣接しています。12地区中、人口・世帯数が最も多く、23の自治会があります。
- ・ 65歳以上人口比率はほぼ区平均と同じですが、地区内でばらつきがあります。
- ・ 地域のなかでさまざまな取組・イベントが活発に行われています。



2 第1期で取り組んだ主な活動や事業

① 防災対策の向上

地区の防災マニュアルを作成しました。また、防災訓練を小学校と連携して実施するなど、高齢者やこどもの参加促進を図りました。

② まちの安全を守る活動

平成20年に「安心散歩の日」を制定し、毎年4月第一日曜日に実施しています。また、安心して散歩するための「安心散歩みち事業マップ」を作成しました。

③ 交流の場づくり

地区内で開催しているゲートボール、体操、サロン、ミニデイの一覧を作成し、地域に回覧しました。また、サロンの連絡会を行いました。

④ こども・青少年の見守り

小・中学校との話し合いを通じて、ふるさと祭りへの参加協力や文化祭のブースのひとつを受け持つなど、こどもの地域活動への自主的参加を促しました。こどもたちの登下校時に積極的にあいさつ・声かけをしました。

⑤ 地域活動への参加

自治会加入の促進啓発、公園等の親子清掃など地域の関係づくりの促進に取り組みました。

⑥ ボランティア活動の拡充

地域ボランティアに関するアンケートに基づき、今後のボランティア活動について検討しました。

3 第2期計画に向けての課題

- ・ 高齢化の進展に伴い、高齢者など地域の活動に参加しづらい人たちが参加できるような取組が必要です。
- ・ 地域の活動に参加を希望する児童・生徒がいるので、こどもたちの自主性を地域活動に活かす仕組みづくりが求められます。
- ・ 地区の中でボランティア活動をしたい人とボランティアを求めている人がうまく結びついていないため、つなぐ体制づくりが必要です。

ちびっこフェスティバル



防犯パトロール



4 推進母体

瀬谷第二地区社会福祉協議会 瀬谷第二地区連合自治会

5 第2期計画の取組内容

〈目指すまちの姿〉 誰もが安全に、安心して、心豊かに暮らせるまち

1 災害対策の向上

- 日頃からの近所づきあいを大切に
- 防災訓練に高齢者・こどもの参加
- 防災マニュアルの啓発

■ 目指す姿：防災意識が共有できているまち

- 防災訓練(高齢者・子ども・障害者の参加促進)
- 学校の防災カリキュラム等の支援体制づくり
- 支え合いカード いざという時の支援体制
- 防災マニュアル作成・配付
避難場所の明確化(いっとき避難場所含)
- 自助:自分の身は自分で守る(徹底するPRを!)
飲料水・食物等の備え・安全対策(家具の転倒防止)
- 共助:身近な人・近所の人から自治会・町内会単位で

2 まちの安全を守る活動

- 安心散歩みち推進事業
- 防犯パトロール
- 危険箇所の把握と対策

■ 目指す姿：誰もが安心して散歩できるまち

- 「安心散歩の日」実施・普及
- 安心散歩みち事業マップの更新
- 防犯・防災の視点で危険箇所をチェック
安全な歩道の確保
- 防犯・防火パトロールの実施

3 地域活動への参加拡充

- 自治会未加入者に加入促進
- 交流の場づくりと拡充
- 多世代が集まれる場や機会づくりの推進

■ 目指す姿：地域活動でみんなが楽しむまち

- 自治会加入促進活動を自治会・町内会及び連合自治会として強化
- 瀬谷第二地区の「交流の場」の情報提供拡大
- エコ活動(「人と地球にやさしく」をみんなで考えるつどいの開催等)、清掃活動

4 こども・青少年の見守りと支援

- みんなで声かけやあいさつ
- 子育て家庭への声かけや支援
- こども、青少年の自主活動への支援

■ 目指す姿：こどもが健やかに育つまち

- 乳幼児・こどもの見守りと支援
 - ・ 子育て交流会 いきいき瀬谷っ子学援隊(登下校時のパトロール)
- こどもたちの自主性を支援
 - ・ ボランティア活動の実践/参加しやすい環境
 - ・ ふるさと祭りへの参加
- はまっ子ふれあいスクール ● 学童保育
- 非行防止(タバコ、ドラッグ等)
- こども・青少年の居場所づくりについて検討

5 高齢者、障害者への見守り支援

- 高齢者の仲間づくり、社会参加
- 障害者への理解と思いやり
- 地域サロン交流会の拡充

■ 目指す姿：高齢者・障害者が安心して暮らせるまち

- 「気づきのキャッチ・見守りのリレー事業」
高齢者への見守り/定期訪問、配食サービス
身近なサポート活動、お隣さんへの声かけ
- 社会福祉大会「ゆずり葉の集い」の開催
- 障害の理解を深める研修会の開催
- 介護家族への理解と支援
- 地域サロンの未実施地域の解消
- 地域サロン主催者交流会の開催

6 ボランティア活動の拡充

- 安心して参加できる環境づくり
- 地区社協の窓口機能の充実

■ 目指す姿：ボランティア活動の仕組みづくりが できているまち

- ボランティア活動の推進体制を構築
- ボランティア活動に関する広報活動
- 地域ケアプラザとの連携
安心して活動できる体制(ボランティア保険の利用)